

競技・審判上の確認事項

競技委員長 佐藤 充昭

審判委員長 小瀧 健二

- (1) **競技はすべて 3 セットマッチとします。3 セット目は 15 点まで（2 点差がつくまで）。**
- (2) 各試合の記録、線審、点示は指定されたチームが担当してください。（別途タイムテーブルに記載）
- (3) 試合開始時刻に 15 分以上遅れた場合は棄権とみなします。追い込み方式をとりますので、各チームは前試合の進行状況に十分注意してください。
- (4) 申し込み時（期限内の変更分を含む）に登録された **18 名以内の選手についての変更（登録選手の追加、番号の変更、誤りの訂正も含む）は一切認められません。** 監督、コーチ、マネージャーについては代表者会議において変更の届け出を受け付けます。登録された 18 名の中から試合毎に 14 名以内（13 名以上の場合リベロは 2 名）、の選手をエントリーしてください。各試合の最終エントリー方法は以下のように運用します。
- (5)
 - ① ベンチ入り最終メンバーの手続きは試合を行うコートの記録席で行います。
 - ② 記録用紙にあらかじめ両チームの大会エントリーメンバー全員を記入しておきますので、チーム代表者はその中からベンチ入りしないメンバーを取り消し線で削除し、リベロの選手を記入してください。
- (6) 各試合への最終エントリーメンバー以外の者のベンチへの着席や公式練習への参加は禁止します。
- (7) 監督、コーチ、マネージャーは、試合中、それぞれの役員マークを左胸部につけてください。つけていない場合はベンチ入りを禁止します。またベンチスタッフは短パン・Gパン着用でのベンチ入りは同じく禁止とする。
- (8) プロトコールでのトスは、第 1 試合では競技開始時刻の 11 分前、それ以降は前試合終了後、10 分後を目安に各コートの記録席前にて行います。その後ライン・アップ・シートを速やかに当該審判員に提出してください。
試合が連続する場合（前の試合で補助役員を行っている場合を含む）は、最低 15 分を基準に休息を設けます。
- (9) コートが濡れた場合のワイピングは、コート内の選手がタオルで速やかに行ってください。タイムアウト及びセット間には、ベンチの競技参加者がモップで拭いてください。**各チーム多めのタオルの準備をお願いします。**
- (10) 隣接するコート試合中の場合は、空きコートでネットを使っての練習を禁止します。
- (11) **アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首などからはみ出たはなりません。**ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されません。
またソックスはチーム統一しているのが望ましいが、不可能なら色及び形状を揃えて下さい。
- (12) **リベロは、他の競技者と対照的で異なる色のユニフォームを着用してください。**
- (13) **今年度は大きなルール・取り扱いの変更がありましたので、下記に記載します。**
 - ① サービングチームの選手はサービスヒット時、コート内のどの位置にいても良い。
 - ② スクリーンについて、サービングチームの選手はサービスボールがネットを越えるまで手を頭より上にあげてはならない。
意図的なスクリーンが疑われる場合、ゲームキャプテンを通じてチームに注意が与えられる。
 - ③ チームが 2 回目または 3 回目にヒットしたボールの全体または一部が許容空間の外を通過して相手フリーゾーンに行った場合は、ボールを取り戻すことはできない。
ボールがネット垂直面を越えた時点でアウトとなる。
- (14) **1 日目の各会場に於いて、スタッフ変更届を 9 : 30 まで本部席に必ず提出して下さい。**